

# 第5回 軽井沢スキーバス事故対策フォローアップ会議

参考資料(貸切バスによる交通事故の現況について)

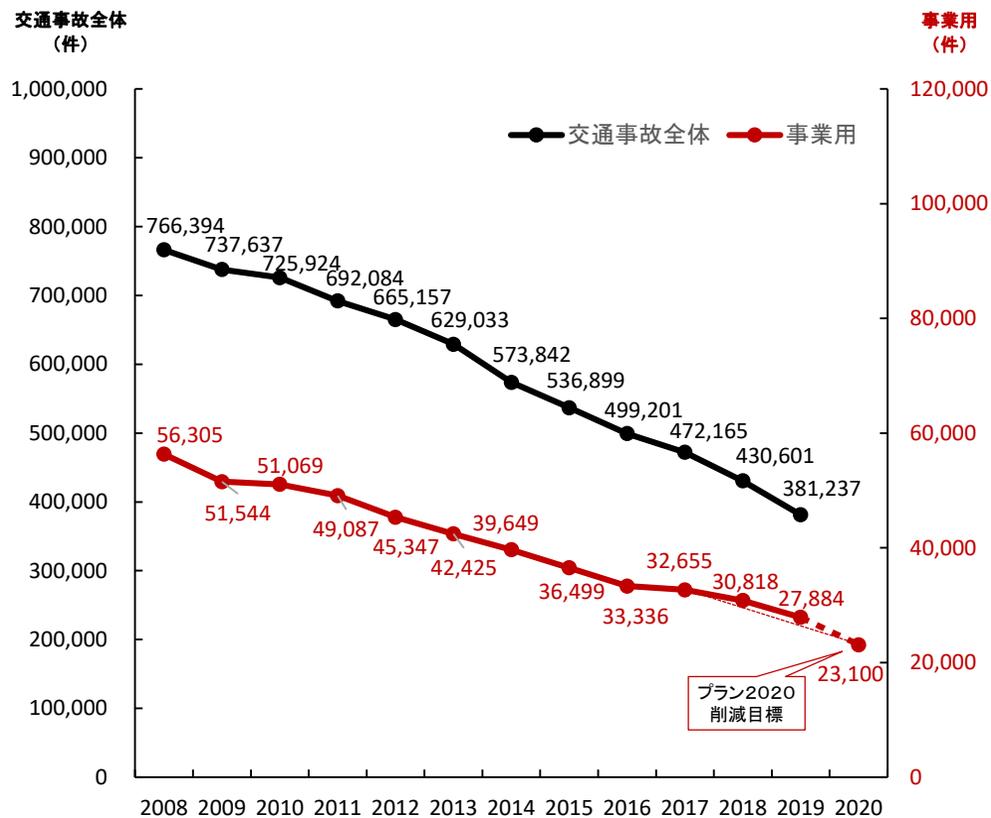
令和2年8月20日

# 交通事故件数の推移

○2019年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は**381,237**件であり、そのうち、事業用自動車の交通事故件数は**27,884**件となった。(事業用自動車が第一当事者である人身事故件数)

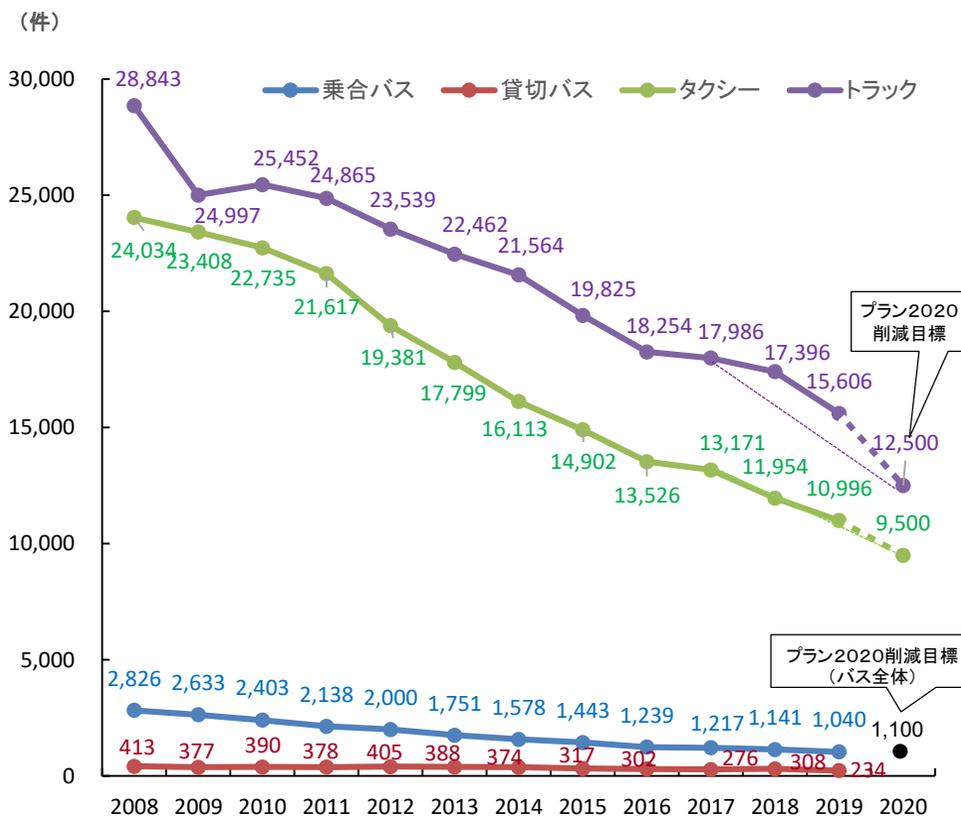
○各モードの交通事故件数は、全てのモードにおいて前年に比べ減少している。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「交通統計」  
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 各モードの交通事故の推移



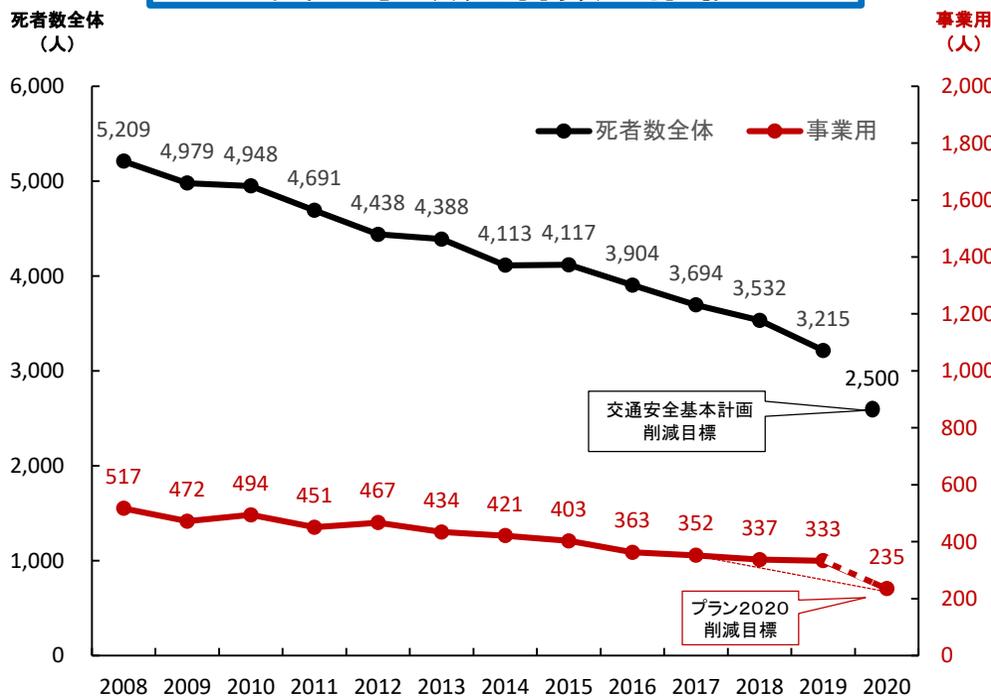
出典：警察庁「交通統計」  
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 交通事故死者数の推移

- 2019年中に発生した交通事故全体の死者数は**3,215**人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は**333**人となっている。
- 交通事故全体の死者数、事業用自動車の交通事故死者数とも、**減少傾向で推移しているが、事業用自動車については減少率の低下が見られる。**
- 2019年の各モードの交通事故死者数は、**トラック・タクシーは前年と同水準であり、乗合バスは減少、貸切バスは増加している。**

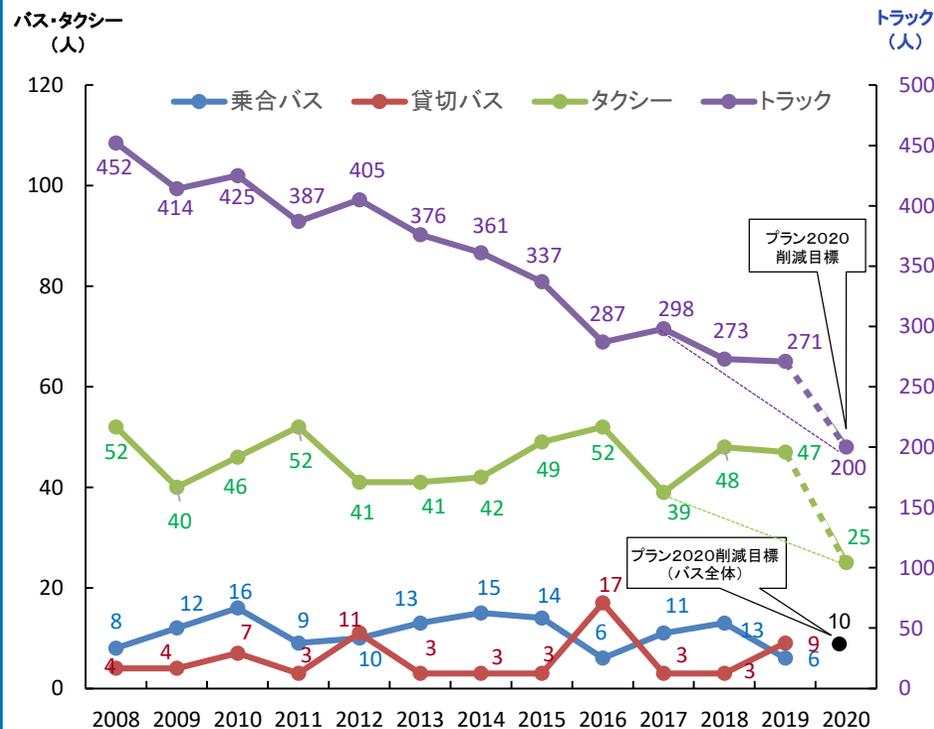
※貸切バスは2012年、2016年の数値が、それぞれ、関越道高速ツアーバス事故、軽井沢スキーバス事故により大きくなっている。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 各モードの交通事故死者数の推移



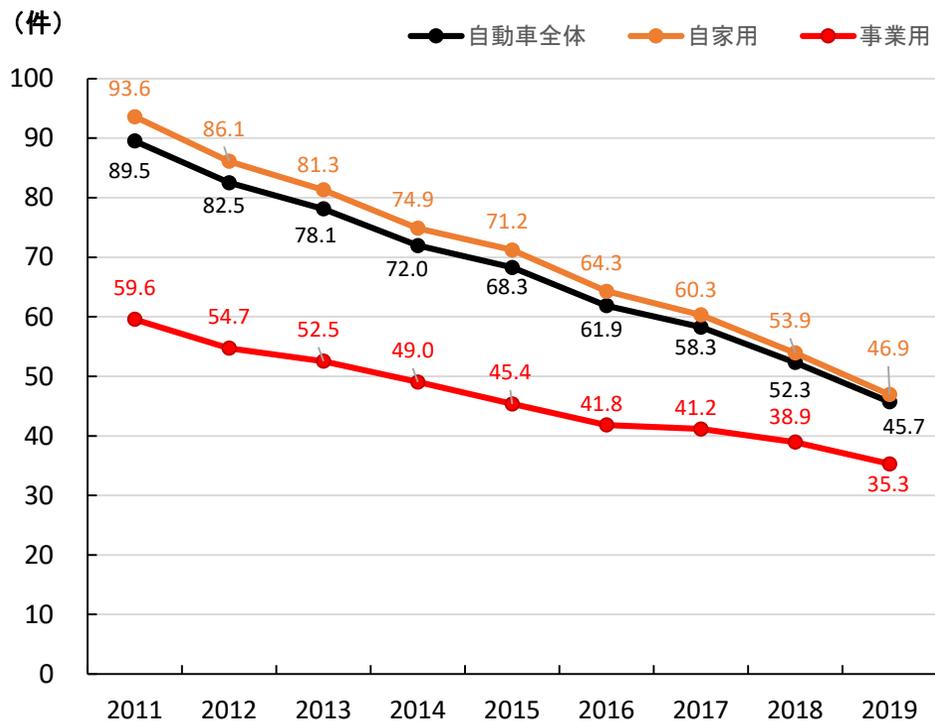
出典：警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移

○走行距離1億キロあたりの交通事故の件数は、事業用が自家用の7～8割程度となっており、減少傾向で推移している

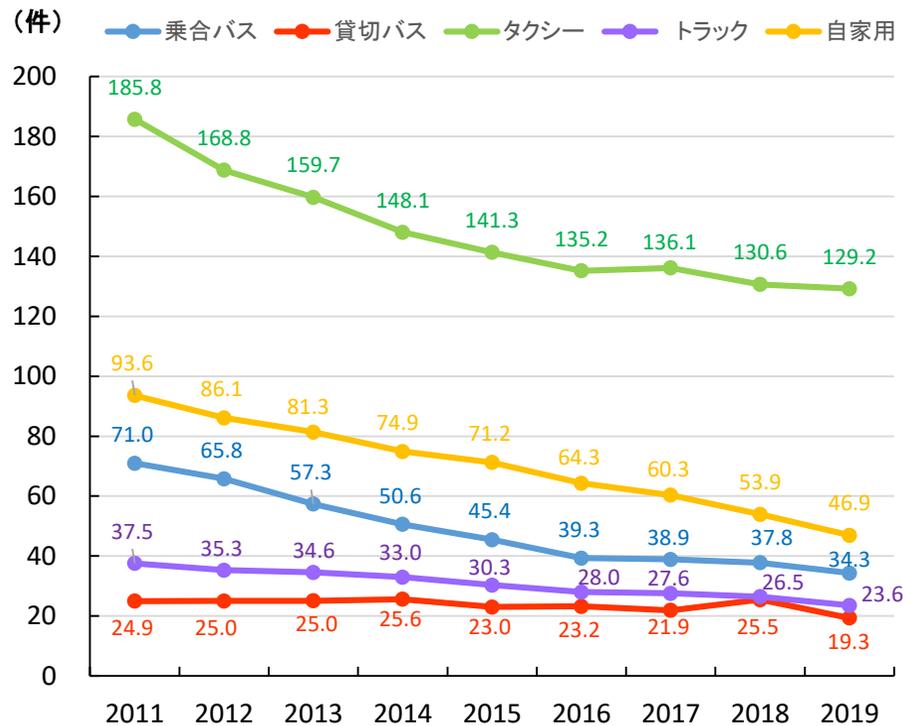
○各モードは、長期的にはそれぞれ減少傾向で推移しているが、近年の減少率は低下し、横ばい傾向にある。

## 走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

## 各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移

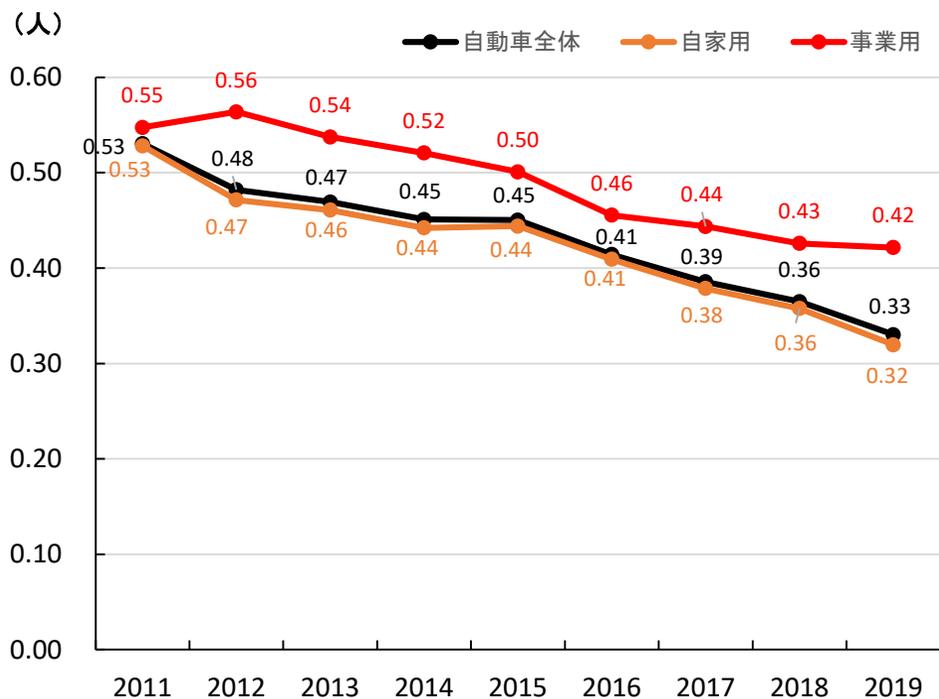


出典：警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

# 走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

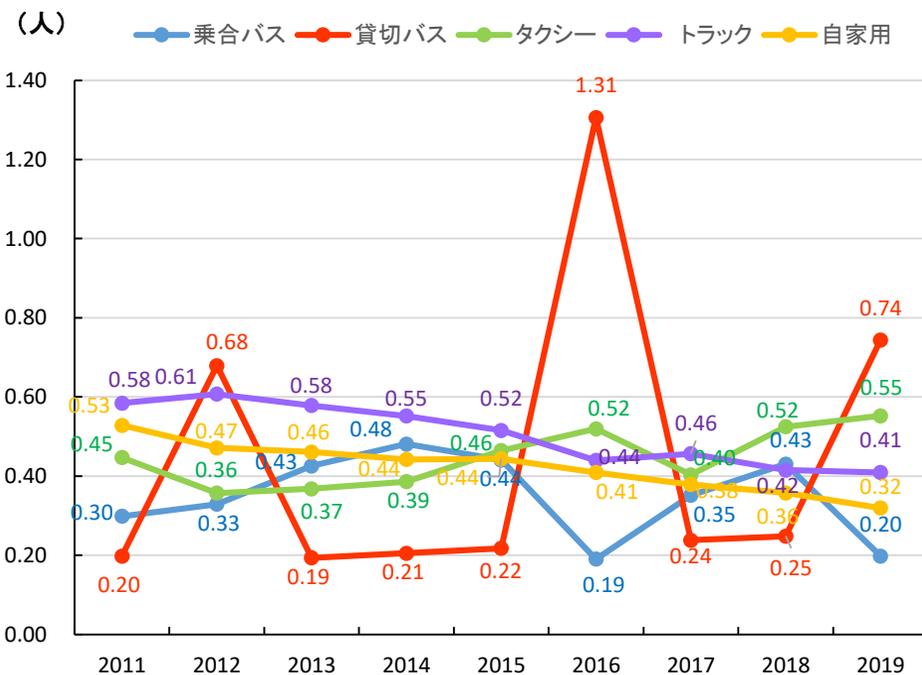
- 走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、自家用・事業用ともに長期的には減少傾向で推移しており、事業用が自家用を上回っている状況である。これは、車両の重量や輸送人数等、事業用自動車の運行形態の特性により、事故発生時の被害が大きくなることが考えられる。
- 各モードごとの2019年の数値は、トラック、乗合バスは前年より減少、タクシー、貸切バスは増加している。

## 走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

## 各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

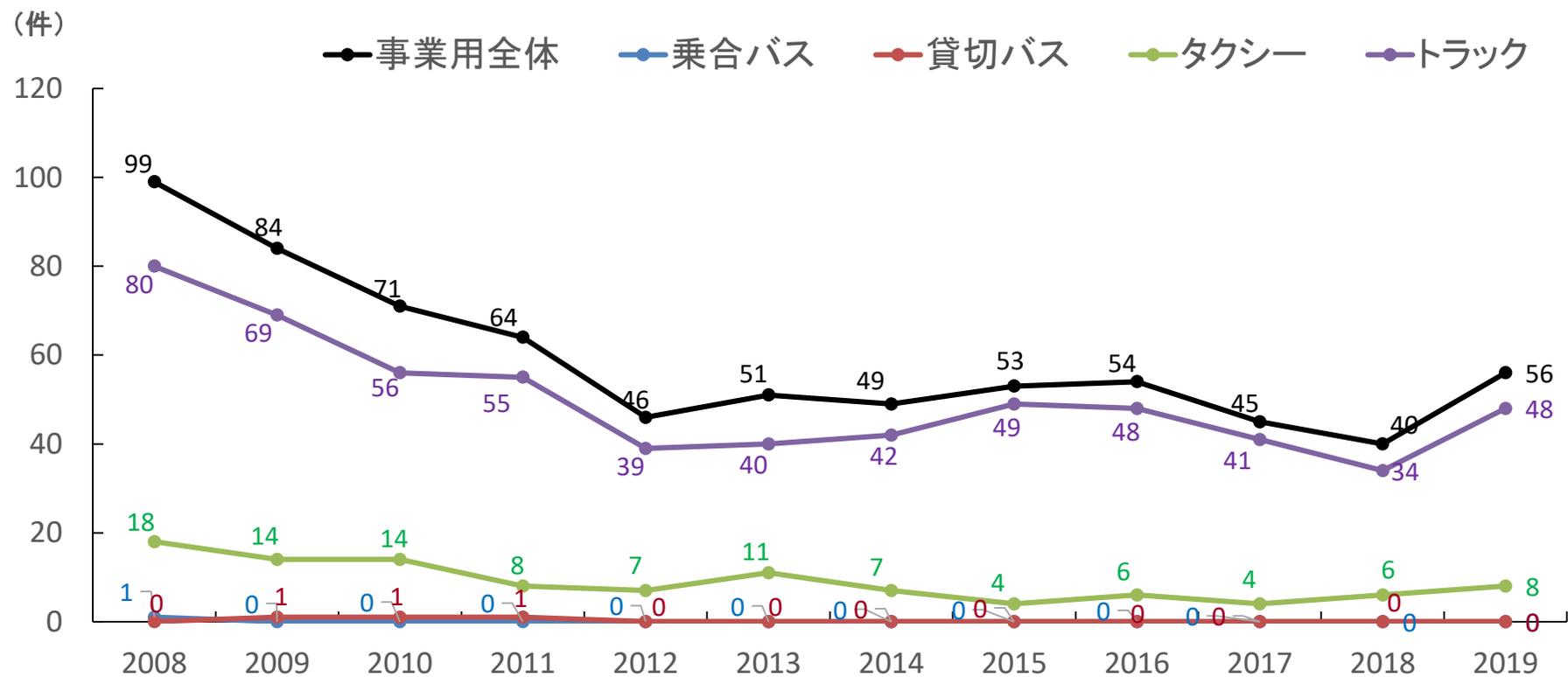


出典：警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
 国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

○飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、2012年以降は横ばい傾向であるが、2019年は**56**件発生し、**前年(40件)に比べて増加(16件増)**した。

○2019年に発生した飲酒運転による事故56件(前年比:16件増)のうち、**トラックによる事故が48件(前年比:14件増)**、**タクシーによる事故が8件(前年比:2件増)**発生している。

## 飲酒運転による事業用自動車の交通事故

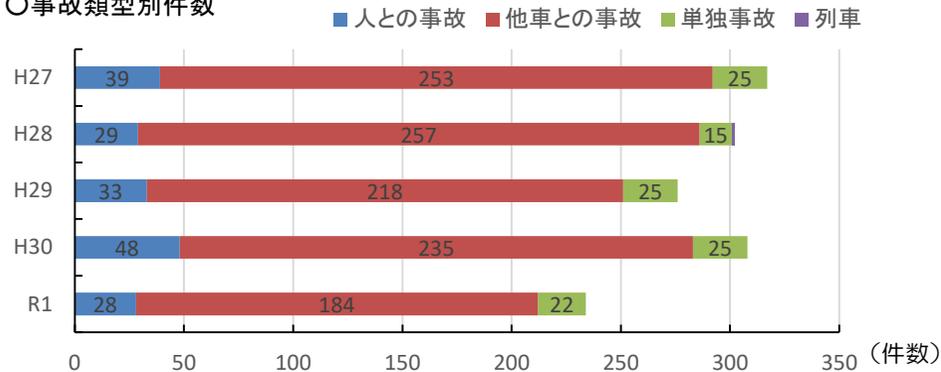


出典:警察庁「交通統計」  
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
 ※ 令和2年6月 国土交通省自動車局安全政策課 修正

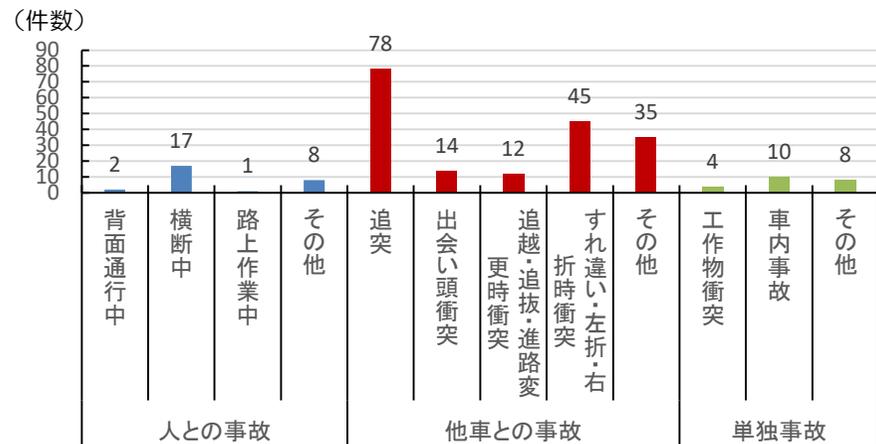
- 交通事故件数は前年に比べ減少しており、直近5年間で最少となっている。
- 令和元年は事故類型のうち、追突事故が最多で78件発生しており、貸切バス事故全体の33.8%を占めている。
- 交通事故件数は減少しているものの、死亡事故は9件と近年の水準を大きく上回った。

## 貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

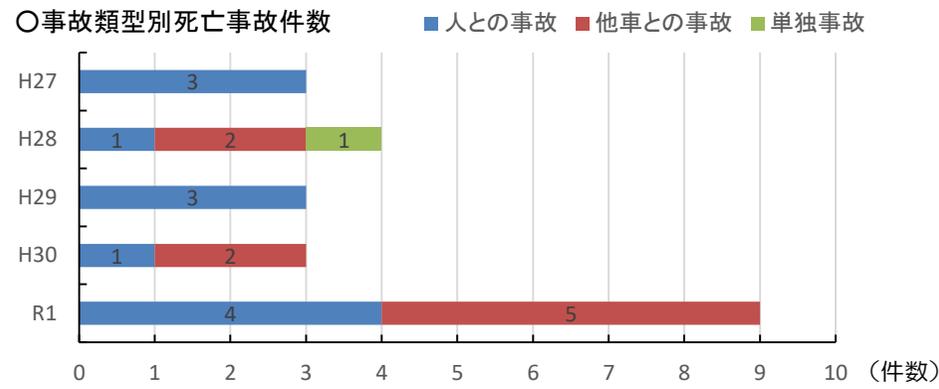


○令和元年事故類型別事故件数の内訳



## 貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和元年事故類型別死亡事故件数の内訳

